

1. 科目名 (単位数)	発達心理学 (4 単位)	3. 科目番号	PSMP2122
2. 授業担当教員	水谷 聡秀		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>従来発達とは、乳児が成人に至るまでの心身の変化と捉えられてきた。しかし、今日では死ぬまで発達過程と捉える生涯発達の視点から、老年期の発達も注目されはじめている。また、老人だけでなく障害児(者)の発達も考えていく必要があり、発達心理学と福祉の関係を学習することの重要性が高まっている。</p> <p>そこで、本講義では、発達心理学の方法と考え方を学び、①認知機能の発達及び感情・社会性の発達、②自己と他者の関係の在り方と心理的発達、③誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達、④発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方、⑤高齢者の心理について学ぶ。</p>		
8. 学習目標	生涯発達の視点から、誕生から死に至るまでの過程を学ぶ。正常な発達と発達の障害を対比しながら理解する。その中で、講義概要の①～⑤を学び、説明できるようになる。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習、事後学習に努めること。 ・3回レポートを作成し、発表を課す。(A4用紙2枚、2,400字以上) ①乳幼児期の問題(言葉の習得、感情の発達、心の理論など)から児童期の問題(虐待、いじめ、不登校など)を取り上げ、どのようなものかまとめ、自分なりの意見を述べる。 ②青年期の問題(モラトリアム、摂食障害、アパシー、ひきこもりなど)を取り上げ、どのようなものかまとめ、自分なりの意見を述べる。 ③成人期の問題(うつ、育児不安など)から老年期の問題(認知症、死など)、非定型発達(発達障害など)を取り上げ、どのようなものかまとめ、自分なりの意見を述べる。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 無藤隆・岡本祐子・大坪治彦編『よくわかる発達心理学第2版』ミネルヴァ書房、2009。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 次の1、2について理解し説明できるか。 1. 生涯発達の視点から、誕生から死に至るまでの過程 2. 正常な発達と発達の障害の理解と支援</p> <p>○評定の方法 平常点(授業態度・授業への参加・授業内諸活動) 50% まとめの課題(テスト・レポート・発表などの活動) 50%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義を通じて、発達心理学に関する基本的な知識を、単にテキストから学ぶだけでなく、自ら考え・調べ、他者との意見交換を通じながら、身につけること。 ・事前に該当頁を必ず読み、分からない言葉・用語・概念などを調べて、授業に臨むこと。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言すること。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為(携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等)をしないこと。 		
13. オフィスアワー	原則週に2コマを第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 【胎児期】 ・胎内で聞こえる母親の声	事前学習	テキスト pp.2～3 を読んで、胎児・新生児について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	胎児の特徴について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第2回	【新生児期】 ・親の顔を見分ける赤ちゃん(選好注視法) 【乳児期】 ・微笑みと人見知り(自発的微笑、外発的微笑、社会的微笑、8ヶ月不安、イナイナイバア、愛着)	事前学習	テキスト pp.20～23 を読んで、選好注視と微笑み・人見知りについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「愛着」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第3回	【乳児期】 ・大事に育てたい親子の愛情(エンタテインメント、情緒的コミュニケーション、基本的信頼感、愛着、安全基地) ・増えていく言葉の数(喃語、一語文、二語文、一次のことば、二次のことば)	事前学習	テキスト pp.24～25、pp.32～33 を読んで、親子の関係と言葉の発達について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「基本的信頼感」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第4回	【乳児期】 ・大事なスキンシップ(スキンシップ、カンガルーケア、タッチケア、アタッチメント) ・ハイハイから二足歩行へ(平衡機能、協応関係、原始歩行、レディネス)	事前学習	テキスト pp.34～35、pp.38～39 を読んで、スキンシップと歩行について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「スキンシップ」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。

第5回	【幼児期前期】 ・ものを見立てる遊び（ごっこ遊び、見立て、象徴遊び、表象、表象機能） ・自分に目覚める（自我の芽生え、反抗期）	事前学習	テキスト pp.46～49 を読んで、遊びと自我の芽生えについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「第一次反抗期」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第6回	文献の検討1（幼児期：発達の遅れ）	事前学習	発達の遅れの事例文献をよく読み、自分なりの理解をしておく。
		事後学習	「1.5歳児健診、3歳児健診」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第7回	【幼児期前期】 ・困ったことをするようになる（強化子、注目獲得行動、計画的無視、タイムアウト） ・毛布などを好きになる（乳児院・養護施設、ハーロウのアカゲザルの実験、移行対象）	事前学習	テキスト pp.52～53、pp.56～57 を読んで、困った問題への関わりと移行対象について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「移行対象」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第8回	【幼児期後期】 ・論理的に考える時期（感覚運動段階、前操作段階、素朴理論） ・言葉の上達（役割所得、一次的ことば、二次のことば）	事前学習	テキスト pp.62～63、pp.68～69 を読んで、幼児期の発達と言葉の発達について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「ピアジェの発達段階」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第9回	【幼児期後期】 ・ごっこ遊び（ごっこ、表象、内面世界、モニタリング、心の理論） ・保育所、幼稚園で学ぶこと	事前学習	テキスト pp.72～73、pp.76～77 を読んで、ごっこ遊びと保育所・幼稚園について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「心の理論」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第10回	【児童期】 ・読み書きの力（識字、鏡文字、外言、内言） ・いじめ（環境移行、自己効力感）	事前学習	テキスト pp.84～85、pp.90～91 を読んで、読字・書字といじめについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「いじめの4層構造」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第11回	【児童期】 文献の検討2（児童期：いじめ）	事前学習	いじめの事例文献をよく読み、自分なりの理解をしておく。
		事後学習	「いじめ」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第12回	【児童期】 ・テレビの悪影響 ・先生に恵まれる（ピグマリオン効果）	事前学習	テキスト pp.92～93、pp.96～97 を読んで、について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「テレビの影響」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第13回	レポート発表1（乳幼児期から児童期の問題）	事前学習	自ら設定したテーマについて参考文献を調べながらレポートを作成する。
		事後学習	指摘された点について再考すること（レポートを修正して再提出してもよい）。
第14回	【青年期】 ・男の子、女の子の違い（男女差、友人関係、性役割） ・将来どうやって生きるか（アイデンティティ、将来展望）	事前学習	テキスト pp.110～113 を読んで、男女差や将来展望について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「アイデンティティ」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第15回	【青年期】 ・自分についての悩み（20答法、第二性徴、アイデンティティの確立） 【成人初期・中期】 ・どう生きていくべきか（危機、モラトリアム、拡散、燃え尽き症候群、アイデンティティ・フリー）	事前学習	テキスト pp.118～119、pp.122～123 を読んで、アイデンティティと生きがいについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「モラトリアム」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。

第16回	【成人初期・中期】 ・子育ての楽しさ つらさ（育児ストレス、育児ノイローゼ、虐待） 【成人後期・老年期】 ・中年の危機（空の巣症候群）	事前学習	テキスト pp.128～129、pp.142～143 を読んで、子育てと中年の危機について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「虐待」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第17回	【成人後期・老年期】 ・高齢者と認知症（老化現象、認知症、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症） ・老年の生きがい（生きがい度測定尺度）	事前学習	テキスト pp.150～151、pp.154～155 を読んで、高齢者の問題について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「認知症」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第18回	【成人後期・老年期】 ・人生を回顧する（ライフレビュー、回想法） ・介護の大変さとストレス（老老介護、ストレス、ケアマネージャー）	事前学習	テキスト pp.156～159 を読んで、回想法と介護について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「ライフレビュー」「回想法」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第19回	【成人後期・老年期】 ・死をどう考えているか（魔術的思考、自我の統合性） 【発達を援助する】 ・虐待はどうして起こる（身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、ネグレクト、DVの目撃、長期の母子分離）	事前学習	テキスト pp.160～163 を読んで、死と虐待について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「児童虐待防止法」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第20回	レポート発表2（青年期の問題）	事前学習	自ら設定したテーマについて参考文献を調べながらレポートを作成する。
		事後学習	指摘された点について再考すること（レポートを修正して再提出してもよい）。
第21回	【発達を援助する】 ・不登校はどうして起こる（分離不安、ネグレクト、さなぎの時期） ・子育てのストレスを和らげる援助（育児不安、エンゼルプラン）	事前学習	テキスト pp.164～167 を読んで、不登校と育児不安について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「分離不安」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第22回	文献の検討3（高齢期：死生観、あるいは幸福）	事前学習	死生観、あるいは幸福の文献をよく読み、自分なりの理解をしておく。
		事後学習	「幸福」や「死生観」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第23回	【発達を援助する】 ・発達の障害（精神遅滞、広汎性発達障害、脳性麻痺、学習障害、注意欠陥・多動性障害） ・学校の問題を援助する（登校しぶり）	事前学習	テキスト pp.168～171 を読んで、発達障害と登校しぶりについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「発達障害」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第24回	【発達を援助する】 ・思春期の悩みを援助する（行動化、身体化） ・思春期の食の問題（摂食障害、神経性無食欲症、神経性大食症）	事前学習	テキスト pp.172～175 を読んで、思春期の悩みの特徴と摂食障害について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「行動化」「身体化」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第25回	【発達を援助する】 ・生きかたに迷う大学生への援助（アイデンティティ拡散） ・悩みを抱える成人への援助（自殺、うつ、心理社会的危機、認知行動療法）	事前学習	テキスト pp.176～179 を読んで、大学生と成人の問題について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「アイデンティティ拡散」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第26回	【発達を援助する】 ・施設高齢者の適応と生きがい（初期適応、回想法） 【発達を考える際に】 ・子どものこころの問題	事前学習	テキスト pp.180～183 を読んで、高齢者と子どものこころについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「高齢者の施設」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。

第27回	【発達を考える際に】 ・大人も変わる（クオリティ・オブ・ライフ） ・発達と能力	事前学習	テキスト pp.186～189 を読んで、クオリティ・オブ・ライフについて理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「クオリティ・オブ・ライフ」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第28回	ワーク（青年期：アイデンティティの形成）	事前学習	第14～15回のアイデンティティの箇所を復習し、自分のアイデンティティについて考える。
		事後学習	ワークで行ったことを振り返り、自分の人生についてさらに深く考える。
第29回	【発達を考える際に】 ・虐待の連鎖をストップする（世代間連鎖） ・生涯にわたる発達をみる	事前学習	テキスト pp.190～193 を読んで、虐待と生涯発達について理解し、疑問点を明確にする。
		事後学習	「世代間連鎖」について参考書などでさらに調べて、理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問すること。
第30回	レポート発表3（成人期から老年期の問題、非定型発達） まとめ	事前学習	自ら設定したテーマについて参考文献を調べながらレポートを作成する。
		事後学習	指摘された点について再考すること（レポートを修正して再提出してもよい）。